

平成 25 年度 放射線障害防止法に基づく放射線管理実務講習会 開催記

神奈川県放射線管理士部会（横浜市健康福祉局）西山 雄治

当日は台風 27 号の接近に伴い開催が危ぶまれましたが、10 月 24 日に開催決行を決定しました。幸いなことに台風一過の晴天に恵まれ、多くのご参加をいただきましたことを冒頭に厚く御礼申し上げます。

神奈川県放射線管理士部会、神奈川放射線安全管理研究会、神奈川核医学研究会、神奈川県放射線治療技術研究会が主催、(社)神奈川県放射線技師会、(社)日本放射線技術学会・関東部会、日本放射線公衆安全学会、日本放射線治療専門放射線技師認定機構、日本核医学専門技師認定機構、(特)日本核医学技術学会が後援する平成 25 年度 放射線障害防止法に基づく放射線管理実務講習会を平成 25 年 10 月 27 日（日）に日産ウェルフェア横浜「日産メディカル 2 階」（神奈川県横浜市）で開催致しました。



講習会会場風景

本講習会は、放射線障害防止法に基づいた内容で、1. 「放射線障害防止法と医療用直線加速装置の管理」、2. 「管理帳票（台帳）管理の事例検討」、3. 「リニアックにおける放射線管理の実際」、4. 「放射線治療装置の実務 放射化物の廃棄～当院の廃棄報告～」、5. 「定期検査・施設検査の概要と留意事項」、の 5 部構成で 10:30 から 16:45 まで、熱心な受講、本講習内容や日常の放射線管理業務に対する積極的な質疑応答のある講習会となりました。

総合司会は、平木 仁史 氏（帝京大学医学部附属溝口病院）、講習会開催にあたり、神奈川県放射線管理士部会部会長 濱田 順爾 氏（横須賀共済病院）よりご挨拶を行いました。



濱田氏、平木氏

1. 「放射線障害防止法と医療用直線加速装置の管理」は、佐藤 周之 氏（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 放射線部）を講師に、放射線治療に関係する法令（①放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律＝放射線障害防止法、②医療法、③薬事法、④労働安全衛生法、⑤国家公務員法、⑥核原料物質・核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律）を冒頭に触れたのち、放射線障害防止法を中心に、日常必要な放射線管理実務の基礎的事項について、丁寧でわかりやすい講義でした。

まとめとして、①日々の管理が重要、②法令は頻繁に改正、③法令の定期的な確認が必要（講習会・法令集等）、④定期的に記帳内容を確認、⑤法令を把握し管理を適切に実施、を述べられました。会場より2つ質問を受けました。



講義 1. 佐藤氏

2. 「管理帳票（台帳）管理の事例検討」は、佐伯 寿夫 氏（帝京大学医学部附属溝口病院 中央放射線部）を講師に、～医療監視・定期確認に対応する一手間～サブタイトルのように、管理帳票（台帳）調査対象の①定期確認、②医療監視、③厚生局適時調査について帝京大学医学部附属溝口病院で実際行っている管理や工夫、また他施設において指摘された例について講義がありました。会場より1つ質問を受けました。



講義 2. 佐伯氏

3. 「リニアックにおける放射線管理の実際」は、岩井 譜憲 氏（昭和大学大学院保健医療学研究科）を講師に、定期確認時に必要な書類等（①許可証、②予防規定、③業務従事者名簿、④健康診断記録、⑤教育訓練記録、⑥被ばく線量管理記録、⑦放射線発生装置使用記録、⑧漏洩線量測定記録、⑨自主点検記録）の、整備されている例が示されました。

会場より3つ質問を受けました。



講義 3. 岩井氏

4. 「放射線治療装置の実務 放射化物の廃棄～当院の廃棄報告～」は、松本 好正 氏（JA 神奈川県厚生連相模原協同病院）を講師に、①御施設の現状、②治療装置の更新スケジュール、③装置の撤去と放射化物の廃棄についての講義がありました。放射化物ドラフト資料をうけて、廃棄計画を進める手順の実例の内容で、今後廃棄予定の施設へ良い情報提供となりました。

会場より 2 つ質問を受けました。



講義 4. 松本氏

5. 「定期検査・施設検査の概要と留意事項」は、伊藤 康 氏（がん研究センター有明病院 放射線部）を講師に、「当院における放射線障害防止法による放射線治療領域の安全管理と品質管理への取り組み」として放射化物の取扱い、学会標準の情報を交えた講義内容でした。

またがん研究センター有明病院における安全・品質管理に関する組織体制が示され、管理のデータベース化について、大変興味深い内容を取りあげられました。

会場より 2 つ質問を受けました。



講義 5. 伊藤氏

講義全体を通して、質疑応答は、近年トピックである改正放射線障害防止法、放射化物の保管・廃棄を中心に、本講習内容に関わらず放射線管理全般に掛かる内容で、活発な質問や意見交換が行われました。

秋の休日の終日、日産ウェルフェア横浜「日産メディカル2階」（神奈川県横浜市）で開催しました平成25年度 放射線障害防止法に基づく放射線管理実務講習会ですが、台風27号の接近があり開催が不安視されましたが、当日は、台風一過の晴天に恵まれました。

また、講師の方々には充実した内容の講義を行っていただき、多くの参加者の皆様のご協力により、無事にそして成功裏に開催できました。

今後も本部会の活動目的

- ・放射線利用施設における適正な放射線管理
 - ・医療施設における医療被ばくの低減
 - ・放射線事故等の緊急被ばくから県民等の安全を確保する
- という放射線管理士の役割の実践を通じて、県民等の安全と健康福祉に貢献する。

取り組む活動

- ・放射線利用施設における適正な放射線管理に関する活動
- ・医療施設における医療被ばくの低減に関する活動
- ・放射線障害の防止および放射線管理技術の指導・普及活動
- ・緊急被ばく医療に関する活動
- ・放射線管理士等に対する教育訓練の実施

上記を果たすべく、より精力的に参加者の皆さまの日々の放射線管理業務に役立つ企画と活発な交流や意見交換を行いたいと思っています。聞いてみたい講演、演習したい内容、企画、講師等ご意見・ご要望がございましたら、神奈川県放射線管理士部会 <http://krsv.umin.jp/> まで、ご連絡いただけたら幸いです。



講習会会場風景

神奈川県放射線管理士部会へのお問い合わせは、 krsv.info@gmail.com

★ 皆様の本部会催事へのご参加を、部会スタッフ一同お待ち申し上げます。